住宅改修助成制度が、議員提案で実現しました

議会報告 12月定例会

来年４月から始まります

日南町議会の12月定例会は、総選挙期間中の12月11日から14日までの会期で開かれました。開会初日に一般質問が行われ、日本共産党の久代安敏議員は、雇用や原発、教育問題などについて質問しました。（詳報は裏面）

また、日南町議会が7月に設置した「政策立案に関する特別委員会」（全議員12名で構成）は、住宅改修（リフォーム）費用の一部を助成する「日南町住宅改修助成条例」を提案し、全員一致で議決しました。

住宅改修助成条例って？

町民が、自分の持ち家を町内事業者により、増改築や小修繕、模様替えなどを行なった際に、経費の一部を助成する制度です。

県内では、鳥取市と岩美、琴浦、大山につづき5市町となりますが、全国では約3割の533自治体で取り組まれています。

制度の概要は、30万円以上の改修で事業費の20%(上限30万円)を助成するというものです。実施期間は、来年4月から3年間。

長引く景気低迷や人口減少により、建築業者の仕事が激減するなかで、この制度が地域経済の活性化と住環境の改善につながることが期待されます。

発電始まる、日南町石見東太陽光発電所

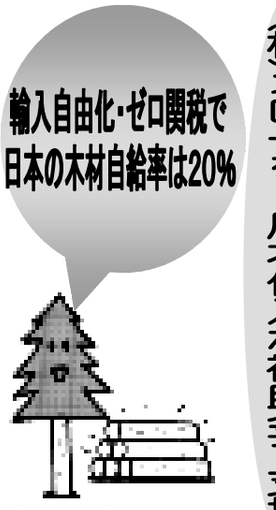
昨年の12月定例会で、「日南町再生可能エネルギー利用促進条例」を議員提案により制定して1年。「日南町石見東太陽光発電所」(旧石見東小学校跡地)が、12月から発電を開始しました。総事業費は、約1億6千万円、発電量は340kWh、中国電力からの売電収入は、年間1,100万円、20年間で2億1,400万円を計画しています。

昨年の福島第1原発の事故により、原発の「安全神話」は崩れ、いまも16万人もの避難生活がつづいています。

安心・安全なくらしを守るために、原発のないエネルギー政策へ転換することが、未来社会への責任。新政権が、原発や再生可能エネルギー政策をどうするのか、要注意です。

石見東太陽光発電所

(株)オロチを、原木仕入れ補助金で支援



オロチは、年間2万8千㎥の原木を使用しています

主に杉の間伐材の丸太をかつらむきにして柱や板に加工し、建築用材として販売する木材加工会社(株)オロチは、本格操業から5年が経過しましたが、赤字経営がつづいています。

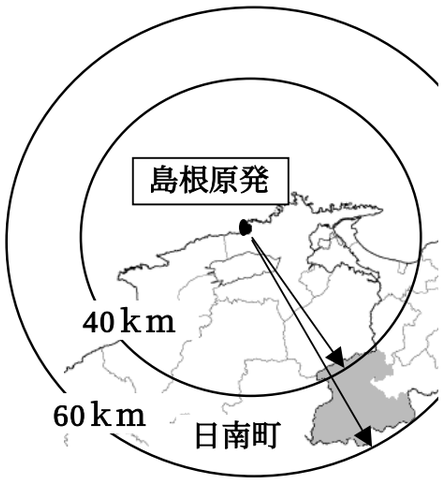
今年1月の臨時議会では、資金繰りのめどが立たない同社の経営難を支援するために、日南町が1億円融資という議案を否決し、「鳥取県中小企業再生支援協議会」の支援を求めることになっていました。

議会は、同社の再生計画について、町執行部や「再生協」から詳しい説明を求め、緊急の支援策として提案された、オロチが仕入れる原木代金が、基準単価・7千8百円／1㎥を超えた場合の差額として、1千円／1㎥を上限とする補助金の補正予算8百万円(13年1月～3月分)を、最終日に可決しました。

討論で久代議員は、①経営試算そのものの破綻と経営者責任。②ゼロ関税と円高による輸入外材との価格差を放置してきた根本的な政治の責任。③税金投入は、オロチの経営再生によってのみ理解されるので、経営者にその自覚を求める、と述べて賛成しました。

原子力から再生可能エネルギー源の転換を求める意見書を議決

12月定例会では、原子力から再生可能エネルギーへの転換を推進し、利活用を促進するための法律や制度の充実。また、島根原子力発電所1号機・2号機の再稼働をおこなわず、3号機の建設を凍結することを求める意見書を全員一致で議決し、経済産業省などに上げました。



日本共産党 にちなん地域 しんぶん まち
2012年12月25日 NO.54

発行・日本共産党日南町支部　住所・日南町神戸上2558
電話・FAX　83-0645　久代安敏議員のブログ　QRコード⇒
日本共産党日南町支部の見解をご紹介します。

新しい視点 展望しめす しんぶん赤旗
日刊紙●月3,400円
日曜版●月　800円

みなさんの要望を実現するために
共同をひろげるカナメとしてがんばります

日本共産党

12月定例会

一般質問

雇用は「正規職員があたりまえ」の職場を

日南町役場の4割は臨時職員 雇用形態の改善で行政機能の充実を

日本は、今や働く人の3人に1人が非正規労働者。官民あげての賃下げ競争が、長引く景気低迷、貧困と格差拡大の大きな要因になっています。日南町役場もその例外ではありません。「行財政改革」のもとに、正職員を臨時職員に置きかえてきた結果、今では臨時職員が4割を超えています。

地方自治法の本旨である「住民福祉の増進」という行政の機能を十分に発揮するためにも、正職員の採用を増やすべき、の問いに町長は、正職員を増やすように努力したいと答えました。

島根原発3号機 営業運転を容認するのか

政府は、大飯原発を再稼動し、建設中の原発の工事を容認しました。現在島根原発1・2号機は停止したまま。3号機は、ほぼ完成しています。「再生可能エネルギー」の促進と町民の安心・安全を確保するためにも、島根原発の稼動を認めない、との立場を鮮明にするよう求めました。

町長は、安全性の確保がなければ容認できないのは当然であるし、原発のないエネルギー政策に転換していくことが重要だと答えました。

介護保険料や国民健康保険税の引き下げを

今年から介護保険料と国民健康保険税があいついで引き上げられ、高齢者や国保被保険者の家計を圧迫しています。その一方で一般会計の基金は40億円、国保会計は3億5千万円の積み立てがあり、この一部を負担軽減に充当し引き下げをと求めました。町長は、介護保険料は、県下で3番目に高いが低所得者層の負担軽減を図っている。国民健康保険財政は、本年度はやむを得ず10%の税率アップしたが、現状では保険税の引下げは難しいと、これまで通りの答弁でした。

TPP(環太平洋連携協定)参加ノーの声を政府に

日本の食糧自給率は39%、輸入完全自由化された木材は20%。アメリカや財界の圧力に屈してTPPに参加すれば、農業だけでなく、国内産業が大打撃を受けます。町も議会も、参加反対の声と共同をさらに大きくしようと提案し、町長は、「どの政権・政党であれ、反対の意思を貫く」と述べました。

得票減らしても大量議席 小選挙区制の欠陥あらわ

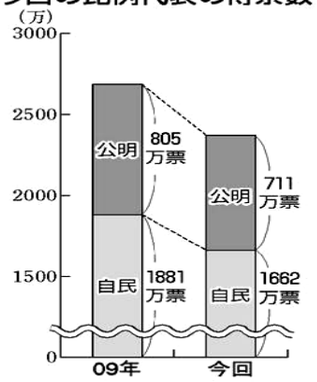
マスメディアは総選挙の結果を、いっせいに「自公圧勝」などと報じています。確かに議席の上では、自民294、公明31で両党合わせて衆院の3分の2以上を獲得しました。しかし、民意の実際を見ると―。

民意をもっともよく反映する比例代表で見ると、国民から「自公政権ノー」の厳しい審判を受けた09年衆院選よりもさらに自民は219万票減、公明も94万票減らしました。

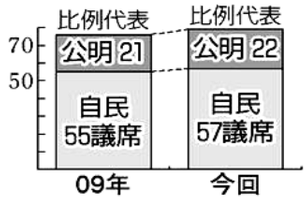
自民が大きな議席を得たのは、比較第1党が議席を独占できる小選挙区制の影響です。

自民は小選挙区でも前回比166万票減らし得票率は34%なのに、議席占有率は79%にもなりました。民意を大政党本位にゆがめる小選挙区制の欠陥を示しています。

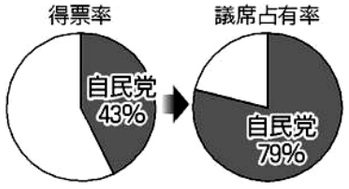
2009年総選挙と今回の比例代表の得票数



2009年総選挙と今回の比例獲得議席数



自民党の小選挙区での得票率と議席占有率



12月議会で、パセオバス停から日南小・中学校へ通う、「新北の原橋歩道橋新設工事」の予算が減額となりました。

これは、9月定例会の陳情審査で、「車道と歩道の一体型の橋として改良すべき」と採択したことによるものです。

再度、改良の方法を検討するとになりました。

公約実現のために全力をそそぎます

総選挙、共産党8議席

16日に投開票の衆議院選挙で、日本共産党は、現有9議席から8議席へと残念ながら後退しました。日本共産党をご支援いただいたみなさんに心からお礼申し上げますとともに、選挙の結果を教訓にして今後の活動に生かす決意です。

選挙戦で訴えた政策的内容は、どれも国民の利益に立ったものと確信しています。雇用と経済、消費税、原発、TPP、震災復興、憲法など、どの問題も、これからのたたかいにかかっています。みなさんと力を合わせ、公約実現のために全力をあげる決意です。

日南町の比例区の得票は、2010年参院選挙より得票率、得票数ともに若干前進しました。

鳥取2区得票数・日南町

共産党	自民党	民主党
福住英行	赤沢亮正	湯原俊二
211	2,243	1,125

比例区得票数・日南町

政党名	得票数
日本共産党	180
自民党	1,588
民主党	847
公明党	380
社民党	82
日本維新の会	243
みんなの党	113
日本未来の党	85

立党から90年。提案し、行動する 日本共産党